

況を発表した。水戸事務所は茨城県内の景気について「着実に持ち直している」とし、4月の「再び持ち直しの動きとなっている」から判断を引き上げた。判断を上方修正したのは2カ月連続。個人消費や住宅建設などが堅調に推移していることが寄与した。

企業業績の回復などに加えて、東日本大震災の県内被災地の復旧・復興

後の景気見通しについては復興需要の高まり、新興国の経済成長などを背景に「緩やかな回復経路に復していくと考えられる。ただ、基幹産業である自

気について「横ばい圏内の動きが続いている」との判断を示し、3カ月連続で判断を引き上げる可能性に含みを持たせている。

関連の業況にも底入れ感が出ており、6月以降の景気判断を引き上げることに始めることで、同温泉子供連れの家族の参加を見

12日、老祭り

苦戦していた。今年から金曜日と土曜日の週末開催にすることで、観光客の大幅増を狙う。

問題で、群馬県は9日、関係市町村との連絡会議を設置した。建設候補地を早急に決めたい環境省の方針に対し、市町村の担当者からは「住民の理解が得られなければ難しい」などの意見が出た。今後は環境省と県、市町村で協議し、最終処分場の建設の可否や候補地などを詰める。

## 茨城町に新整備拠点

### 水戸から移転 最新機器を導入

UDトラックスの国内販売子会社、UDトラックスジャパン（埼玉県上

尾市）は茨城工業団地茨城県茨城町に自動車整備工場を開設した。これまで水戸市内にあったが、常磐道や北関東道へのアクセス

ス向上や最新機器の導入を進めるため移転した。取得した約1万平方メートルの敷地に自動車整備工場や自動車部品を一元管理する倉庫、営業機能などを置く事務棟を設けた。延べ床面積は計3200平方メートル。規模は旧拠点と

ほぼ同じという。倉庫では格納箱にしまった部品をコンピュータ制御で作業者の手元まで運ぶ最新機器を導入。作業時間の短縮とミス防止につなげる。電子制御のトラックの故障箇所を早期発見するシステム

## 栃木県那須塩原市

塩原温泉郷の中でも秘湯のイメージが強い奥塩原温泉。昨年、新湯（あらゆ）と元湯の2地域に分かれる奥塩原の7つの旅館がそろって「奥塩原源泉かけ流しの会」を結成した。12月には栃木県

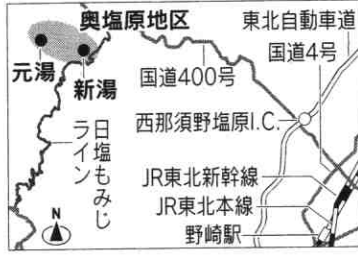


「温泉神社」があるなど奥塩原と温泉の関係は濃密だ

## 奥塩原温泉、源泉かけ流し宣言

### 泉質武器に集客取り組む

の福田富一知事を前に、湯槽を常に「源泉かけ流し」にすると宣言し、温泉の質の良さを武器とした集客活動に本格的に取り組み始めた。同会は「温泉教授」として知られる松田忠徳氏の提唱に沿って、昨年3月6日に発足した。ただ、直後に発生した東日本大震災の影響で活動は一時停滞。6月に設立された日本源泉かけ流し温泉協会には加盟したが、当初は5月に予定していた知事を前にした宣言は年末



の福田富一知事を前に、湯槽を常に「源泉かけ流し」にすると宣言し、温泉の質の良さを武器とした集客活動に本格的に取り組み始めた。同会は「温泉教授」として知られる松田忠徳氏の提唱に沿って、昨年3月6日に発足した。ただ、直後に発生した東日本大震災の影響で活動は一時停滞。6月に設立された日本源泉かけ流し温泉協会には加盟したが、当初は5月に予定していた知事を前にした宣言は年末

それが年明けからようやく回復基調に入り、「12月は前年、3月は一昨年を上回った」。源泉かけ流しを訴えることで、勢いを加速させることを目指している。渡辺氏によると、これまで「源泉かけ流し」というキーワードを通じて奥塩原の各旅館のインターネットのアクセスが増えたなどの効果があった。今後は7軒の旅館の宿泊客を対象に、他の旅館の温泉にも入浴できる「湯巡り」サービスなどを導入し、集客力を強化する考えだ。また渡辺氏が今後の目

## 竜巻被害 支援策広がる

### 住宅無償提供や融資・相談

茨城、栃木両県などを襲った竜巻で、自治体や金融機関の被災者向け支援策が広がっている。茨城県はつくば市内の県営住宅計27戸を被災者に最長1年間、無償提供する。つくば市は被災住宅のがれき処理の支援を始めた。本来、民有地の処理費用は個人負担だが、がれきを家の前の道路に出せば無料回収する。栃木県は中小企業向けの相談窓口を開設した。筑波銀行は茨城県信用

北関東

支局 水戸 029-2221-3283  
つくば 029-8521-1034  
宇都宮 028-6822-1745  
前橋 027-2223-3114